

ときめき

Beating Kashima

鹿島

2013.7
夏号
44号



ポラリス

★ポラリス(北極星)を目指すには北極星を見分けること。目指すところ(方向)は一線でもやり方はそれぞれ多種多様、一人一人の思いをエッセイの形で伝えたい

下瀬事務部長のポラリス「中期ビジョン2013」

常務理事 事務部長 下瀬 宏

平成25年度は小精理事長、清水院長という新体制でスタートしました。病院長の交代は10年ぶりです。公仁会にとっては大きな出来事でした。清水院長の所信表明は春号のポラリスで示されています。大きなミッションを背負ってのスタートです。成功のためには皆さんの団結したサポートが必要です。私も微力ながら最善を尽くす覚悟です。

今年度新たに「中期ビジョン2013」を策定しました。この「ときめき鹿島」の2ページ目に掲載されています。期間は2015年度までの3年間です。私からは公仁会が進むべき方向を示すこの「中期ビジョン2013」の主要な部分について考えをお伝えしたいと思います。

まず、命題は「慢性期医療の確立」です。小精理事長は以前から「慢性期医療という言葉自体に確立された定義はない」と言われます。この定義は自分たちで自分たちなりのものを創っていくものと私は勝手に解釈しています。昨年の診療報酬と介護報酬の同時改定時、団塊の世代が後期高齢者になる2025年に向けて厚生労働省が示した医療・介護の姿は「在宅」がメインでした。要するに少子高齢化が一段と進む中、今の医療・介護の在り様では対応しきれないということです。私たち中小病院は国の方針を見ながら考え、柔軟に変化していかなければ生き残りは難しいものと思われま

す。入院患者を治療して出来る限り早く在宅へ戻って頂く。その為には何をやるのか、その第一が回復期リハビリテーションの推進と積極的拡充です。早速、回復期リハビリテーション病棟拡充委員会が設置され検討が始まりました。当然その中では現在の4病棟のあり方を見直して再編成することも検討されます。医療療養病棟については将来的に入院期間が長くなるに従い入院基本料が減算されることが予想されますので、平均在院数を国が目標とする135日に出来る限り早く近づけておくことが必要です。

病院が変化していく以上、当然在宅サービス機能のあり方も今のままで良いのかどうか検討をします。

公仁会が松江の医療圏において慢性期医療で確固たる位置を占めるためには、入院患者の受け入れはもちろん、退院後のフォローも重要です。松江日赤、松江市立病院等の急性期病院、地域の介護施設、開業医の先生方との連携は無くしては成らないものであり、一段と力を入れて行く必要があります。日頃からコミュニケーションを大切にしたいと考えています。

日本病院機能評価機構の評価更新時期も近づいていますので、新バージョンでの受審に向けての準備も開始します。

変化に柔軟に対応するためには何といても人材が一番です。専門的な知識をしっかりと身に付けた人材の育成に力を入れて行きます。積極的に応募してください。

リスクへの備えとしては、特に来るべき原発再稼働に向けたリスク対応に取り組んで行きます。

今年度、公仁会には小精理事長・清水院長の下、更なるステップアップのための第一歩を踏み出しました。職員の皆様一人一人が力を合わせ、それぞれの持ち場で頑張って頂くことを期待しています。



基本理念

私たちは、仁愛の心をもって「医療と介護サービス」を提供し、地域に貢献します。

基本方針

1. 鹿島病院を中心に地域と連携して、良質な慢性期医療を確立します。
2. 患者様・利用者様の人権を尊重し、思いやりといつくしみの心で扱います。
3. 技術や知識向上のため、たゆまぬ努力を行ないます。

行動指針

1. Safety …安全を最優先します。
2. Speedy …変化に能動的に挑戦します。
3. Service …おもてなしの精神で扱います。

医療法人財団公仁会中期ビジョン2013

中期ビジョン2013

慢性期医療の確立

1. 病院機能

- (1)慢性期医療の推進
- (2)回復期リハビリテーションの推進と積極的拡充
- (3)特発疾患、回復期、療養病棟の再編成の検討
- (4)医療療養病床平均在院日数135日を目指す
- (5)後発医薬品の使用促進

2. 在宅サービス機能

- (1)在宅サービスの質の向上
- (2)医療、介護関係機関との連携強化
- (3)在宅サービスの評価・検討・組織力強化

3. 医療安全対策の推進

- (1)感染防止対策の活性化
・専門的知識のレベルアップ
- (2)医療安全対策の活性化(医療安全、医薬品、医療機器)
・専門的知識のレベルアップ

4. 地域連携 及び 地域貢献

- (1)急性期及び介護保険施設の支援病院としての機能強化
- (2)地域の診療所との連携
- (3)患者退院後の地域連携の確立
- (4)予防医療や介護技術を地域へ普及

5. 高齢者や障害者を意識した施設・設備・環境の整備

6. 継続的な医療サービスの質の改善への取組み

- (1)機能評価の評価に基づく継続的改善活動
- (2)臨床指標(Clinical Indicator)の検討・活用
- (3)患者満足度向上の組織的取組み
- (4)診療録・看護記録等の質の向上

7. エコロジーへの取組み

8. 人材の育成

- (1)職員教育体系の構築
- (2)専門的知識を有するスタッフの育成
- (3)人事評価体系の構築

9. 電子カルテシステムの評価、改善

10. リスクの軽減とリスクへの備え

- (1)継続的にリスクの再評価、再検討
- (2)新型インフルエンザ対策
- (3)原子力災害への対応

患者様・利用者様の権利宣言

平成21年10月1日改正

1. 個人の尊厳

患者様・利用者様は、ひとりの人間として、その人格・価値観などを尊重されます。患者様・利用者様が自身が意思表示や意思決定できない場合は、ご本人の尊厳を最優先にご家族と当科のスタッフがよく話し合い決定しています。

2. 平等で最善の医療と介護サービスを受ける権利

患者様・利用者様は、平等で安全に配慮された最善の医療・介護サービスを受ける権利があります。

3. インフォームド・コンセントと自己決定権

患者様・利用者様は、医療と介護サービスに関することについて、わかりやすい言葉や方法で説明を受け、その内容を十分に理解した上で選択・同意し、適切な医療・介護サービスを受ける権利があります。

また医師から提案された医療・介護サービスに同意できない場合は、拒否することもできます。拒否することで不利益をこうむることはありません。

その選択にあたっては、他の医療・介護サービス機関の意見を聴く(セカンドオピニオン)ことができます。

4. 情報に関する権利

患者様・利用者様は、当財団で行われたご自身の医療・介護サービスに関する情報の提供を受ける権利があります。

5. プライバシー及び個人情報の保護

患者様・利用者様は、私的な生活を可能な限り他人に侵されない権利があります。医療・介護サービスの過程で得られた個人情報は、個人の秘密として厳守され、患者様・利用者様の承諾なしには開示されません。

鹿島病院臨床倫理の方針

平成22年1月1日制定
(平成22年1月6日 協議会承認)

1. 患者様の人格を尊重するとともに、患者様と医療従事者が協力して公正かつ公平な医療を提供します。
2. 患者様ご自身が意思決定できない場合は、ご家族と十分に話し合い治療方針等を決定します。

3. 終末期治療方針は、医学的に妥当で適切な医療を患者様・ご家族の同意の上、多職種よりなるケアチームで決定します。
4. 患者様の信条や価値観を尊重した医療を提供します。
5. 臨床研究は、倫理的審査を行った上で患者様・ご家族の同意に基づき実施します。

院長賞を受賞されました

院長室での選出時、毎日数百による1分高スピーチを行っています。

院長賞を受賞された5名のスピーチは、皆に感動、驚き、美しさを与えたと思います???



H25年1月スピーチ院長賞

「ありがとう」の魔法

看護部
福島 奈津子



私がまだ、母のおなかの中に居る時のこと「お腹の子は、もう死んでいます」医師にそう宣告された母は、それでも諦めきれずセカンドオペニオンに走ったそう。薬をも細心思いで行きついた産婦人科の医師によって、私と母は救われた。39時間及ぶ難いの末、私を産んでくれた母に、大人になった今も、ろくに親孝行らしい事はなにも出来ていない。時々大喧嘩になったりするが、私は母に一番感謝している。私が「ありがとう」の言葉の意味を考え始めたのは、病気による数々の入院生活の中で、今まで経験した事のない苦しみを乗り越える事が出来たことを実感できた時からだ。

どんなに強がっても人は一人では生きていけない、今の私が在るのも周りのみんなが居てくれたからだと思えて思えた時、心から自然と「ありがとう」の気持ちが湧き、涙が自然と流れてきた。

「ありがとう」には3段階あり、他の誰かに何かをしてもらった時に「ありがとう」と言うのが初級。嫌なこと、苦しい時、病気さえにも「ありがとう」と言えるのが中級。何も無い普通の生活にも「ありがとう」と言い続けられるのが上級だ。

「有難う」→「有ることが難しい」本来あり得ないことで、有ることが難しい。奇跡に近い出来事だと本で読んだことがある。実際「ありがとう」と心から思うことで溜かいた気持ちになれる。心から人に伝える事で、伝える側も受け取る側も溜かいた気持ちになれるなんて魔法の言葉であって、小さな幸せだけれど積み重ねることで、とても大きな幸せになると私は思う。

このご時世、世の中には余裕のない人も多数いるかもしれないが、私はどんな小さなことでも「ありがとう」としっかり伝えることができる人間でありたいと思う。

意地や照れもあり善段なかなが上手く伝えられないけど、私が一番「ありがとう」と伝えたいのは、苦しみながらも私を生んでくれた母です。

H25年3月スピーチ院長賞

精丹

在宅サービス部
山田 麻美



私は、北海道の西部積丹半島の出身だ。地名の由来はアイヌ語のシャクコタン。「夏の村」と言う意味から、その名が付いたそう。その名のとおり、夏は観光客でとてもにぎわい、海岸線一帯は、ニセコ積丹小樽海岸国定公園に指定されている。魚介類が豊富でヒラメ、うに、たらこ、いくら等と沢山の海の幸があり海の幸も有名なが、日本海に向かって突き出ている海岸線をドライブしながら、積丹ブルーと呼ばれる海を眺めるのがお勧めだ。積丹ブルーは遠くで見ると濃く深い緑色、近くで見ると透き通った綺麗な海の色。そんな海を見るのが私の楽しみだった。これから暖かくなり夏に向かう。札幌からは少し遠いが積丹半島を夏の旅行にお勧めしたい。

H25年4月スピーチ院長賞

短かったこと

診療部
野田 以登子



私達、検査技師は入院中の患者さんに接する機会が少ない。先日入院時の心電図を測定するために患者さんのベッドへ行き、測定が終わった時、「足元の布団はどうしましょうか?」と私が尋ねると、その方は「足の感覚は無いので、開けておいてください」と言われた。私がその方の足を少しさすってあげると「ん?何が感覚がある」といわれ大変よろこばれたため、もう片方の足もさすってあげたところ「すごい!向足とも感覚がでた」と言われた。その方は薄くうれしそうに「あなたは何処の部署の方ですか?よくなって車椅子に乗れるようになったら必ず、あなたの部署にお礼に行きます」といっていた。私は患者さんから、こんなに気持ちのこもったお礼を初めて言われ、とても感動した。病棟の看護師、介護職員、リハビリのスタッフはこういった言葉を原動力にして働いているんだなと実感をした。また、羨ましさも同時に感じた出来事だった。

H25年2月スピーチ院長賞

色々な角度から見る

看護部
万代 和枝



「朝顔小娘だ、大津だ、大羽種(いわし)の大津だ。浜は冬りのようだけど海の中では、何萬(まん)の船のとむらいするだろう。」という詩がある。

なるほど物事は違う側面から見ると、それぞれ異なるように見えるものだと感じた。当事者にとっては、まず良いこと、悪い事に分かれ、そして第3者は全く違う印象を受ける事もある。私はディスカウントショップで、一度に買いきれない程の食料品を大量買いすることがある。一見すると上手に買い物をしたように感じる。冷凍保存をすれば長期の保存が可能だ。しかし気持ちはずるが、食品本来のうまみは失われ、食べごろを逃してしまう恐れもある。やはり必要な物を、必要な時に、必要な分だけ、買うのが賢い買い物だ。

これらの事から、子供や後輩の指導に関しても同様に色々な角度から見る必要がある。注意をする時は、悪いところばかりを言うのではなく、良い面を見て伝えながら注意をするようにし、良いところが伸びるよう導く事が大切だ。何事も一方的な見方にならないように注意しなければならぬ。

H25年5月スピーチ院長賞

田んぼのある生馬

リハビリテーション部
福田 容子



私が住んでいる生馬地区は、松江市の郊外に位置しておりとても穏やかな地区だ。農業調整区域ということも手伝ってか、田んぼが多く夜になると蛙のグゴグゴという鳴き声が聞こえてくる。昔は牛ガエルの声も聞こえたが、最近は聞こえなくなった。その代りに、一時期見られなかったホタルが、最近は見られるようになった。

小学校は1学年1クラス程度の小規模校。中学校の校区は松江市内一番大きな松江第一中学校で1学年10クラス程度もある大規模校に通うことになる。生馬小学校からの生徒は1クラスに3人程度で、市の中心部の小学校出身者からは、田舎者っぽくみられ、寂しいおもいをする事になる。高校になると、さらに部部の方から通う生徒が見られるが、松江一中卒業の生徒として、今度は部部の中学校卒業生を田舎ものっぽく見る事になる。

最近、春日や法吉では田んぼが殆ど見えなくなってしまった。生馬には田んぼがまだあるものの、農業の後継者がおらず問題になっているようだ。TPPの問題、後継者問題など田んぼを取り巻く環境は厳しいが、この田んぼのある風景がいつまでも続いて欲しいと願っている。



つうしょテラス



7/2 通所カフェオープン しました。(通所フロアー)

職員:ミルを挽いていただけませんか?
利用者さん:コーヒー飲むのもなかなか大変だねえ。
職員:おいしいですか?
利用者さん:わしは甘党だけん。この人は黒党(ブラック)だわ。
利用者さん:おいしいです。やっぱ本物は香りがいいし、豆席とは全然違っていいわあ。アハハハ!
職員:ちょっと薄かったですか?
利用者さん:まあ、そのうち上手になあわね。とてんい笑顔でした(^^_^^)



7/18 出唄カフェ-IN 幸町デイサービスセンター

7月18日事務部医事課の職員3名で訪問しました。利用者の皆さんとコーヒー豆をミルで手挽きしました。見た目より力が必要で皆さんびっくり、「コーヒー屋さんは大変ですね。」の声。お湯を注ぐといい香りが広がり、フロアはコーヒー専門店のようです。「いつもインスタントだからとても美味しかった。」と中にはお代わりする方も。最後に「どこのコーヒー屋さんから出前に来られましたか。」ととても喜んでいただきました。



大正琴のみなさん



大正琴の演奏会

7月17日「大正琴演奏会」を開催し8名の演奏家をお招きしました!!

とても素敵な音色がフロアに響き渡り、利用者様たちも知っている曲が演奏されるととても嬉しそうな笑顔で口ずさんでられましたよ(●o●)♪

「曲を聞いたら体の毒がみんなとれたわ〜」

「まるで飛んでいるような感じだったわあ〜」

「子供の時は弾いちゃってねー懐かしいわ」と話して下さいました。

演奏家の方も「いろんな施設に行くけど今までで一番観客が多くてびっくりしました!」と驚いてられました。

優雅なひとときに癒されました(^^)♪



7/3(約)通所フロアーにて「光華流光華会による踊りの鑑賞会」が開催されました(通所リハビリ・デイサービスの利用者様、入院患者様も足を運ばれとても賑やかな会となりました!踊りに合わせて手拍子をされるなど、皆さん大変喜んでられました。

6/13日本舞踊 あじさいグループ8名のみなさん
笠踊りやいろいろな踊りがみられて人数も多く賑やかで(華やか)利用者様も喜んでられました。

健康コーナー
豆知識

「べんがかたい」ということ

医師 戸田 博敏



豆知識ということで原稿依頼を受けました。

日常会話で「べんがかたい」といえば、もちろん、「べん」は「便」のことであり、うんちがかたい、かたくて出にくいということですね。

ところで、これが心臓超音波検査(以下UCGと記す)の際に「べんがかたい」というと、この場合の「べん」は「弁」を意味します。UCGでは主に心臓の動き、大きさ、血液の流れを評価します。弁の形状、動いている様子も観察できます。



弁は部屋と部屋の間のドアに例えることができます。ドアが開くと部屋から部屋に血液が流れます。閉じることで血液の逆流を防ぎます。そのおかげで血液は前へ前へと進むことができます。弁が心臓のポンプの動き(収縮、拡張)にタイミングよく合わせて閉じたり、開いたりして、心臓から全身に脈打つ血液を送り出されるわけです。

弁が故障すると血液がうまく流れにくくなり心臓に負担がかかり心不全になります。これを弁膜症といいます。弁膜症には弁が、きちんとしまらない閉鎖不全症と、十分に開かない狭窄症があります。弁が開きにくいということは動きにくい、硬いということです。閉鎖不全症と狭窄症が同時に一つの弁に起こることもあります。心臓には4つの弁があり、そのどれもが故障する可能性があります。

全身に流れる血液は心臓の左室という部屋から大動脈に送り出されます。左室と大動脈の間を仕切ってドアの役目をしているのが大動脈弁です。近年、高齢人口の増加に伴い、この大動脈弁が硬くなる、動脈硬化性の大動脈弁狭窄症が増えてきています。程度の軽いものから重いものまであるわけですが、やっかいなのは時間とともに狭窄の程度が進行することです。軽症で発見された場合は、慎重に経過を追う必要があります。

始めに返って、実際、検査室でUCG検査中、Dr.「(心臓の)弁が硬くなっていますね。」

患者さん「最近、便が固くてでにくいです。」のような会話をたまに経験します。

松江保健所 杉橋章義先生を講師にお迎えして ノロウイルス感染予防研修会を行いました。

院内感染防止対策
委員会事務局
川谷清美
平井多恵



6月13日(木)に松江保健所の杉橋章義先生を招いて、ノロウイルス感染予防の研修を行いました。当財団では、今年の1月から3月にかけて、幸町サービスセンター、鹿島病院サービスセンター、鹿島病院4階病棟において感染性胃腸胃炎の院内感染が発生し、感染性胃腸胃炎の感染力の強さを実感しました。院内感染防止対策委員会では、職員の記憶に新しいうちにノロウイルスの感染予防の研修を開催しようということになり、松江保健所の環境衛生部の杉橋章義先生をお願いしたところ快く引き受けてくださいました。

研修では、実際に県内の施設で起こったノロウイルス集団感染の話や、ノロウイルスの特徴、感染経路、手洗いの徹底、嘔吐物の処理方法、消毒薬の作り方、職員が感染した場合の対応、感染状況把握・周知の重要性についての話しをしていただきました。また水様下痢便が、広範囲に飛散している状況や、洋式トイレに比べ和式トイレの方が壁や足元に飛散することが分かり、私達が思っている以上に広い範囲が汚染されることを知りました。

杉橋章義先生のお話は、分かり易い言葉で、簡潔にポイントを説明していただき、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

職員の研修の感想をいくつかご紹介します。

- ・実際にあった例をあげての説明は他人事ではないなぁと実感した。よく分かるように説明していただきました。ありがとうございました。
- ・和式トイレの飛び散りはびっくりです。普段聞けない話です。よく分かりました。
- ・もう少し話しが聴きたかった。
- ・感染予防、一処置一手洗いや、手の正しい洗い方など再確認でき、大切さを再確認した。業務中、時間をかけての手洗いや処理がどうしても出来ず、簡易的になってしまっていたことが振り返ると多々あったように思うので意識していきたい。

当日は、勤務でない職員もたくさん研修に参加していただき、参加者181名75%の参加率でした。院内感染防止対策委員会では、定期的な研修を行うことで、感染対策の基本となる手洗いの正しい方法、標準予防策などの再確認をして、院内感染防止対策に取り組んでいきたいと思えます。

杉橋章義先生、ご多忙中にもかかわらず、ノロウイルス感染予防について懇切丁寧なご指導をいただき、誠にありがとうございました。



はるなつあきふゆ

大岡 悠

はるのうみ
あふらめ めはる
のり わかめ みる
いひだこ さはら さくらたひ
はまくり あさり さくらがひ
やどがり しほまねき
ひじき もづく いぞぎんちゃく

なつのうみ
よづり いかつり
やくわうちゅう くらげ
さす あなご ちぬ
とびうを かははぎ べら をこせ

いしだひ はまち おぼだこ
いさき かんばち ままかり
てんくさ ふなむし ふのり

あさのうみ
あさあじ あささは あさがつを
いわし さんま すずき

ぼら はせ
しいら たちうを さっぱ

ふゆのうみ
あんかう なまこ

ふぐ
ちどり
かも

しんねんのうみ
おほはしのはつわたり

はつひので
なぎ

こども
おとな
うみかぜ
かもめ

口腔乾燥がもたらす影響 ～口腔ケアを見直そう～

診療部栄養課
農坂 由希子



- ①口腔乾燥について
- ②唾液について
- ③保湿剤について
- ④栄養と咬合関係について

6月25日にNST勉強会が開催され、当院歯科衛生士 中村みどりさんを講師に迎え「口腔乾燥がもたらす影響」について講演して頂きました。上記の内容は、どれも患者様のケアで役立つものばかりで、口腔のケアについて重要性や考え方など見直すことができました！

口腔内の乾燥が進むと、舌の痛みや味覚障害などの症状が起こります。原因としては口腔機能低下や薬の副作用、免疫疾患など様々あるそうです。解決策としては、口腔内を清潔に保つようにして、乾燥症状を緩和する保湿ジェルやスプレーを使用するなど口腔内の湿潤を保つ。食生活の改善、よく噛んで食事をするなどがあります。また、低栄養の改善が、褥瘡、誤嚥性肺炎、感染予防に効果をもたらすといわれているが、口腔のケアと栄養状態の改善を同時に進めていかなければ成果を上げることはできません。患者様の機能を改善、維持していくためには、自分自身が相互的な目で患者様の日々の変化を観察し問題点に気づくこと、そのためには知識を高め多職種と情報を共有し合うことが大切だと痛感しました。今回講演して頂いた中村みどりさん、素晴らしい講演本当にありがとうございました。次回NST勉強会は、8月に行われる予定です！皆さんの参加お待ちしております！！



漫画コーナー

てんご盛りの愛情



この話はノンフィクションです。イラスト M-6

この人だ〜れ?

カメラ目線で
ハイポーズ

答えはP9▶



両親のいたずら?
私可愛いでしょう! (1才)

2



お知らせコーナー

人事のお知らせ

- 任命 診療情報管理士 原 栄嗣
介護福祉士 仁宮 優子
介護福祉士 金坂加代子
- 異動 医療相談部・社会福祉士 渡部 喬彦 看護部 介護福祉士

- 入籍 看護部 看護師 原田健太郎
看護部 介護福祉士 中澤 仁美
事務部医事課 事務職員 井上紗貴子
薬剤部 事務職員 橋本 由香
薬剤部 杉谷誠一郎
- 退職 看護部 清水 実生
看護部 森脇 泉

新入職員紹介

中澤仁美

(看護部)



○趣味

本を読む事(趣味)
というよりは習慣)

○好きなこと

好きなもの: 神社仏閣及び
歴史的建造物
好きなこと: 散歩

○一言あいさつ

色々知らない部分もあります
が、精一杯頑張りますので、どうぞ
宜しくお願い致します。

原田健太郎

(看護部)



○趣味

釣り

○好きなこと

温泉

○一言あいさつ

5月から2階病棟で勤務させて
いただく事になりました。
まだ看護師2年目で、分からない
事も多々ありますが、頑張ってい
きたいと思っていますので、これ
からもよろしくお願い致します。

井上紗貴子

(医事課)



○趣味

ジブリ鑑賞

○好きなもの

Melty kiss 抹茶味

○一言あいさつ

皆さんに、ご迷惑をおかけして
おりますが、今後ともよろしくお願
いします。

橋本由香

(薬剤部)



○趣味

漫画、雑誌鑑賞、
音楽鑑賞(ドライブしながら)

○好きなこと

カラオケ、買い物、ひたすら寝る

○一言あいさつ

7月から薬剤部の事務として勤務
させていただくことになりました。
趣味は主に漫画を読むことです。
一日中寝てしまうこともあり、
私の集中力は仕事と漫画にしか生
かされていないかもしれません。
同じ趣味の方がおられたら仲良く
してもらえると嬉しいです。ご迷
惑をおかけすると思いますが、一
生懸命頑張りますのでよろしくお
願いします。

資格取得のお知らせ

○慢性呼吸器疾患看護認定看護師

看護部 井上 明子



公仁会事業報告 3・4・5月

患者満足度調査 実施済 日
リハビリ数

鹿島病院

①外来部門

(稼働日数67日)	1日平均入数
延べ外来患者数	1,035人 15.4人/日

②病棟部門

②-1
特殊疾患病棟
(2F)

(稼働日数92日)	1日平均入数
延べ入院患者数	5,473人 59.5人/日
ICU・ICU-ICU併設病棟	2,702人 29.4人/日
リハビリ実働数	2,236単位 24.6単位/日

②-2
医療療養病棟
(3F)

延べ入院患者数	2,827人 30.7人/日
脳血管疾患リハビリ	2,517単位 27.4単位/日
運動器リハビリ	225単位 2.4単位/日
呼吸器リハビリ	85人/日

②-3
回復期リハビリ
テーション病棟
(3F)

延べ入院患者数	2,317人 25.2人/日
脳血管疾患リハビリ	1,475単位 16.1単位/日
運動器リハビリ	547単位 5.9単位/日
呼吸器リハビリ	295人/日

②-3
医療療養病棟
(4F)

延べ入院患者数	5,042人 54.8人/日
脳血管疾患リハビリ	1,749単位 19.0単位/日
運動器リハビリ	1,389単位 15.1単位/日
呼吸器リハビリ	83人 2.8単位/日

②-4
短期入所介護介護

ショートステイ利用患者	38人 4人/日
-------------	----------

在宅サービス部

①通所リハビリ
"やまゆり"

(稼働日数79日)	1日平均利用患者数
通所リハビリ利用患者数	2,484人 31.4人/日
回復期リハビリ実働数	66単位 8単位/日
脳血管疾患リハビリ実働数	103単位 1.3単位/日
運動器リハビリ実働数	2,221単位 28.1単位/日

②鹿島病院
デイサービス
センター

(稼働日数79日)	1日平均利用患者数
通所介護利用患者数	1,968人 24.9人/日

③鹿島病院
幸町デイサービス
センター

(稼働日数79日)	1日平均利用患者数
通所介護利用患者数	1,686人 21.3人/日

④訪問看護
"いつくしみ"

(稼働日数62日)	1日平均利用患者数
訪問看護利用患者数	264人 4.3人/日
訪問看護実働数(介護)	560人 9.0人/日
訪問看護実働数(リハビリ)	309人 5.0人/日

⑤鹿島病院
やまゆり居宅介護
支援事業所

(稼働日数62日)	1日平均利用患者数
延べケアプラン申込者	347人 116人/月
延べ介護数(ケアプラン)	44人 15人/月

職員数

職種	職員数(名)
医師	5人
薬剤師	3人
P	7
O	16
S	1
T	3
看護士	82
臨床検査技師	2
放射線技師	1
社会福祉士	5
介護士	5
介護福祉士	45
歯科衛生士	1
管理栄養士	4
その他	60
合計	247

25/11現在

地域連携室便り 36

「終末期医療について」

今から20年ほど前、世の中も病院もゆっくり時間が流れていたように思います。しかし、ここ10数年の間に、世の中は急速に高齢化を迎えました。それに伴い、病院は大きく変化しています。政策的に、急性期病院と慢性期病院の役割分化が進められ、入院日数の短期化も進められてきました。現在は、患者を急性期や慢性期の病院だけでなく、地域社会全体でケアするものという考えが一般的になりつつあります。そこで、近年鹿島病院では、地域の開業医の先生にもいろいろ教えていただきながら、地域医療を進める活動を始めているところです。そんな中、最近では、地域の行政、公民館、自治会などでの講演の機会を与えられることも多くなってきました。今回は、その中のいくつかを紹介します。

■平成25年3月27日、松江市湘北台自治会いきいきライブを推進する会の「第43回いきいき健康講座」で、医師の小崎先生(元院長・現理事長)が「最近の慢性期医療の実情」という題で講演されました。会場には、松江市湘北台自治会の活動を行っている方や高齢者の方々60名が集まりました。講演では、近年時代の医療の流れは急速に進んでいること、医療の世界でも医療従事者の不足や医療費の削減など多くの課題を抱えていること、そして、医療界全体が地域医療をより良質なものにするためにこの問題に取り組んでいることなどが説明され、鹿島病院における様々な取り組みや考え方が紹介されました。



松江市湘北台自治会館での講演の様子

●平成25年6月6日、松江市役所鹿島支所の「H25年度健康松江21健康講座」において、医師の坂之上先生(副院長)が「地域と医療との連携について」という題で、地域住民のみな

医療相談部
小林 裕恵



さんや福祉推進職員を対象にした講演をされました。講演の後、「ここ、20、30年の病院の変化、鹿島病院の医療体制などについてもよくわかりました」「ベッド数が減少する中で退院後のケアの在り方、家族への支援についても知ることができました」「病院からすぐに追い出されるとよく耳にするようになってから久しいですが本日、先生のお話を聞き、医療の現状がよくわかりました」「鹿島病院が私たちにとって身近な医療を行ってくださっていることが分かり安心です」といった感想をいただきました。



松江市役所鹿島支所での講演の様子

◆平成25年6月21日、松江赤十字病院の「第3回地域連携勉強会」で、私は「地域連携についての鹿島病院の変遷 ～病院の紹介を交えて～」という題でお話をさせていただきました。対象は松江赤十字病院の看護師、相談員、セラピストの皆さんです。内容は、鹿島病院がここ10年ぐらいでどう変わってきたのかを説明するものでした。医療の現状と双方の役割を確認し、地域医療にどのように関わっていく必要があるかということについて、意見交換できるよい機会だったと思います。

病院と地域の関係は、これからどんどん密接になっていきます。鹿島病院も、松江市内を中心としたさまざまな地域で連携を深めていくこととなります。地域の方々も、公民館などで病院のスタッフの話が聞かれる機会があるかもしれません。その時はどうぞご質問ください。病院の外でもお会いできるのを楽しみにしております。

この人だ〜れ?

答え

①



在宅サービス部
佐伯 満さん

②



在宅サービス部
岡 俊弘さん

でした。

ときめき広場



薔薇の花に癒されて



園芸部
(田井先生と仲間たち)

今年、鹿島病院の玄関に初めて薔薇が咲きました。昨年苗を植えてから毎日水やりを欠かさず一生懸命愛情を持って育てました。4種類の薔薇を植え、赤・白・ピンクの綺麗な花が開花しました。全く素人の私たちに玄人の田井先生が薔薇に勝る愛情で指導して下さいました。来院される方々に「綺麗ですね。見事です。」と声をかけていただいています。中には「長年勤務して、あの花壇に花が咲いているのを初めて見た」と驚く職員もいます。薔薇を育てることで多くの患者様・来院者様・職員間での会話の花を咲かせることが出来ている事は私たちに大きな喜びと癒しをもたらしています。

薔薇の花言葉:

赤「愛情」
白「尊敬」
ピンク「上品」



今年もレガッタに参加します。

7月7日米子市民レガッタに参加しました。

リハビリテーション部 山成大治

予選は一位で通過し、総合タイムも2位という状態で優勝の可能性があったのですが、天候が悪くなりレースは中断し、マシンでの体力勝負となりました。その結果13位まで落ちました。「レースなら勝てたのに!!」と非常に悔しい思いをしました。次回7月27日、28日に松江市民レガッタがあるのでリベンジが出来たらと思います。



レガッタに向けてキャップを作りました。

事務部 福田摩実

遠目でも目立つように真っ赤なキャップに決定! 真っ赤に抵抗のある人には特別色としてパーガンディを用意しました。並ぶとまるで「広島×楽天」ですが、本番では鹿島オールスターズとして力を合わせて頑張ります。

皆さんの応援と参加を宜しくお願いします。



編集後記

夏号から編集に参加することになりました。農版です。よろしくお願ひします。平日13時から開催される酒所カフェ!! コーヒーの良い香りに誘われ、利用者さんが続々と集まります。コーヒーは豆から挽いた本格派! 味も美味しいと評判で利用者さんは、午後一杯を楽しみにされているようで、ゆったりとした時間が流れ、利用者さん同士や職員とが交流できる場になっているようです! 監修 農版 山崎希子



〒720-0292 鳥取県米子市米子1-1-1 米子市立総合医療センター
 医療法人社団 米子市立総合医療センター 米子市立総合医療センター
 TEL: 0859-221111 FAX: 0859-221112
 〒720-0292 鳥取県米子市米子1-1-1 米子市立総合医療センター
 医療法人社団 米子市立総合医療センター 米子市立総合医療センター
 TEL: 0859-221111 FAX: 0859-221112
 〒720-0292 鳥取県米子市米子1-1-1 米子市立総合医療センター
 医療法人社団 米子市立総合医療センター 米子市立総合医療センター
 TEL: 0859-221111 FAX: 0859-221112